

◎注意事項をよくお読み下さい

りそな 経済フラッシュ

(日本9月鉱工業生産)

2018/10/31

りそなホールディングス 市場企画部

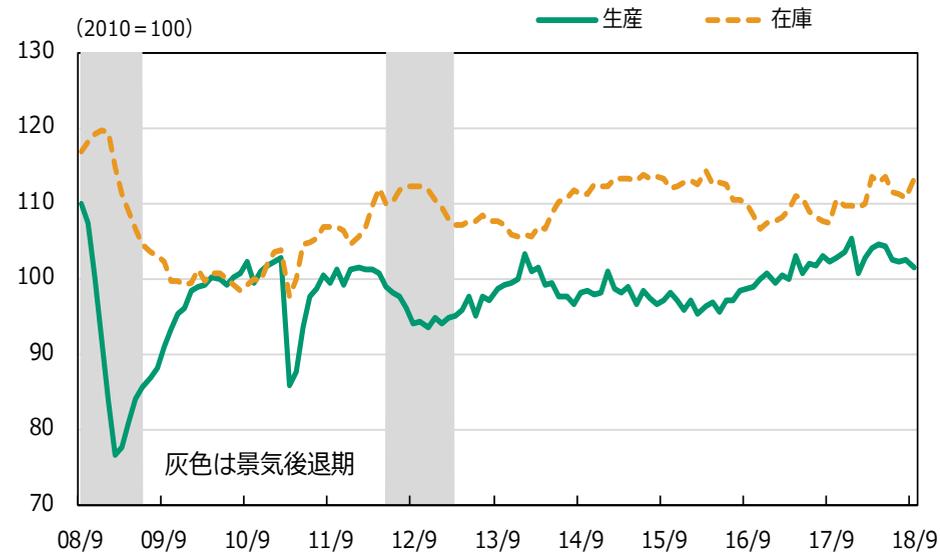


〇概況

- ◆ 9月鉱工業生産、前月比▲1.1%と前月から低下
- ◆ 基調判断は「緩やかに持ち直しているものの、一部に弱さがみられる」と据え置き
- ◆ 生産予測調査によると、10月+6.0%、11月▲0.8%の見通し

- ✓ 9月の鉱工業生産は前月比▲1.1%と、前月から低下。出荷は▲3.0%と低下、在庫は+2.3%と上昇。また、出荷に対する在庫の割合である在庫率は+7.8%と上昇。生産、出荷の伸び悩みは災害要因も一部あるとみられるが、輸送機器や鉄鋼には外需の伸び悩みもみられ今後の動向には注意を要する。
- ✓ 基調判断は「緩やかに持ち直しているものの、一部に弱さがみられる」と前月から据え置き。
- ✓ 生産の業種別では、15業種中11業種が低下。情報通信機械(▲4.2%)、鉄鋼業(▲3.6%)、非鉄金属(▲2.6%)などが低下。
- ✓ 出荷の業種別では、15業種中13業種が低下。鉄鋼業(▲8.8%)、繊維(▲5.5%)、輸送機械(▲4.7%)などが低下。
- ✓ 在庫の業種別では、全15業種で上昇。電子部品・デバイス(+9.6%)、非鉄金属(+5.4%)、はん用・生産用・業務用機械(+5.2%)の上昇幅が大きい。
- ✓ 予測調査では10月+6.0%、11月▲0.8%の見通し。(ただし予測調査には上方バイアスがあり、経済産業省によるバイアス調整した先行き試算値は10月+0.9%となる。)

【生産と在庫の推移】



【鉱工業生産 (指数)】

